

生ごみ分別・資源化モデル事業【大山自治会(1~13号棟)】第1回意見交換会を開催しました！

● 目的

この事業は、燃やせるごみの減量のためには生ごみの減量化が必要なことから、家庭から排出される生ごみを資源化するために、平成23年2月から約3年間という事業期間で「生ごみ分別・資源化モデル事業」を実施し、市全体における事業拡大の可能性を検証するものです。

今回、ご協力いただいている約400世帯の大山自治会会員の皆さんと「意見交換会」を行い、日頃から各会員が抱えている疑問点や悩み等について情報共有し、今後の安定した生ごみ収集、処理を行う上で事業の見える化を図りました。

当日は、悪天候にもかかわらず、自治会長はじめ、多数の会員の皆さんの参加があり、普段抱えている疑問、要望など様々な意見の交換ができました。また、会場となった集会室の周りには、収集した生ごみからできた「たい肥」を利用して花壇を作りました。

● 会場の様子



● 生ごみからできた「たい肥」が花壇に



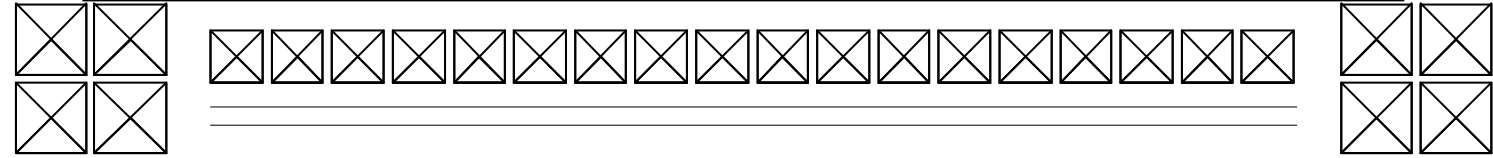
参加者数
第1部 30名(男性9名・女性21名)
第2部 27名(男性8名・女性19名)
第3部 13名(男性5名・女性8名)
第4部 10名(男性0名・女性10名)
合計 80名(男性22名・女性58名)

こんな質問や意見が出ました
とうもろこし、ソラマメ、玉ねぎの皮は出せますか？ → 出せますが、とうもろこしの芯は燃やせるごみへ花はリサイクルカートへ入れても大丈夫？ → 食用の花なら大丈夫です。
リサイクルカートが大きすぎるので、起こしたりするのが大変です。
生ごみを入れるバケツの取っ手が壊れてしまった。
さらに多くの方が会に参加して学習するとよい。

● 今後の予定

- 組成分析の結果報告 ○第2回意見交換会実施(平成24年秋頃予定) ○月1回程度の巡回及び対応
- イベント等におけるたい肥の配布や相談会等の開催 ○広報、ホームページ等でのPR ○本事業における中間評価

立川市環境下水道部ごみ減量推進課 ☎523-2111 内線 6748



立川市
総合リサイクルセンターだより

みんなで減らそう 燃やせるごみ減量50%!

西砂からの風

2012年6・7月号
(第11号)

発行/立川市ごみ減量推進課

家庭ごみ戸別収集・有料化基本方針(案) 市民説明会を開催しています

市は平成21年3月「燃やせるごみ5年で50%減量を目指します」との方針を広報でお知らせし、市民や事業者の皆さんとともにごみの減量・リサイクル推進に取り組んでいます。5年間の取り組みの中で、平成23年11月に「燃やせるごみ5年で50%減量中間評価報告書」を取りまとめ、目標達成のためには「家庭ごみ戸別収集・有料化」が大きな鍵になるという考えを示しました。

■家庭ごみ戸別収集・有料化の効果

戸別収集方式にすることで、集積所のトラブルや不法投棄、収集日の間違いなどさまざまな問題が解決できると期待しています。ごみを出す人の責任が明確になり、今まで以上にごみの減量やリサイクルの推進が見込まれると考えます。

有料化の実施により、市民の皆さんにごみ処理費用の一部を負担していただくことで、ごみを減量する意識が高まると同時に排出量に応じた負担となり、公平性を確保することができます。

これらを踏まえ、平成24年4月「家庭ごみ戸別収集・有料化移行への考え方」を示し、市内6地区において説明会を開催しました。

6回の説明会のほか、電話や個別の説明会においてお寄せいただいた意見や要望を反映させ、このたび「家庭ごみ戸別収集・有料化基本方針(案)」を作成しました。

本方針(案)について市民の皆さんに説明し、ご理解とご協力をいただくため、市内12ヶ所において説明会を開催しています。

今後も右記の通り、説明会を開催していきますので、ご参加いただき、ご意見をお聞かせください。

参加しやすい日時・会場を選んで直接会場へお越しください。

～開催日時と会場について

日程	会場
8月8日(水)	さかえ会館
8月10日(金)	西砂学習館
8月17日(金)	若葉会館
8月20日(月)	錦学習館
8月25日(土)	女性総合センター

ご理解ご協力をお願いします！

いずれも時間は19時～20時30分

